『見守りが必要な人の生活を、地域で支えていくために』

歯科診療のケースから

高津区　花村歯科医院

健常者（92歳男性　徒歩で通院）　口腔内

在宅の患者さんの一例

事例

- ケース1　Yさん（78歳）
- ケース2　Kさん（72歳）
- ケース3　Aさん（76歳）
- ケース4　Hさん（76歳）

- ケース1　Yさん（78歳）

スタッフ：先生、Yさんのことなんですけど。以前はいつもオシャレで身綺麗な服装でいらしてたのに、最近は食べこぼしの跡が目立つシャツだったり、襟が汚れていたり、セーターのほころびや穴が空いてたりして。この前は小銭しか持って来られなかったんですよ。そんなこと無かったのに、ちょっと変だなって気になっているんですが。

DR.：そういえばこの前お見えになった時は、顔やシャツに血が付いていていたので尋ねたら

駅で転んだって言ってたなァ。それにこの所何か尋ねても上の空のような所があるのが気になっていたんだ。奥様が亡くなってまだ一年程だから精神的に参っているのかなァ。

〇その後、一回予約ブロークンで再度取った約束の時間にお見えにならず、気になったので電話を入れて娘さんに最近の事情もお話しした。その後、娘さんからの連絡で認知症と診断されたと報告があった。

・ケース2　Kさん（72歳）

元々おとなしい方で治療にも歯磨き指導にも協力的だったのに、この所なんか急に無口になってしまい、治療内容の説明をしても返事はするのだが…　今まで予約時間に遅れることは一度も無かったのにこの頃遅刻ばかりする。それにニコニコしていらしたのに、この頃笑顔が無くなんか終始無表情だなァ…

〇それから間も無くご主人が随伴され認知症ですと告げられた

〇ご家族の状況などにも気をつけていないといけないなと再認識した。

？？？もし独居の場合どこに連絡・相談すれば良いだろう？？？

- ケース3　Aさん（76歳）

実家の土地を処分するのが大変というような世間話を毎回のように話していたのだが、だんだん国税庁に土地を没収されたとか、国税庁のお役人に土地家屋を騙しとられそうで恐ろしいやら腹立たしいやら…　という被害妄想話を毎回するようになった。ご家族のことを尋ねるとご長男が治療不可の脳の病気で私が面倒を看ていると話された。次男の方が不定期に家に来るという。

〇こちらから事実かどうか、家族の状況を確かめるのも難しく、どこに、どこかに相談すべきなのかどうか迷ってしまった。

？キーパーソンや主介護者が誰かわからない以上、地域包括のケアマネが一番良いのか？

？地域包括に上がる前段階ではどうすべきか？役所？

- ケース4　Hさん（76歳）

画家で海外にも頻繁に出かけるアクティブな方だったが、コロナが流行し出してから怖いので行けませんと連絡があり2年程来院されなかった。当院受診の友人方も連絡が取れないけどこちらに電話がないかと当方に相談され、口腔内の状況も気掛かりのため連絡を取ると、やはりなかなか通じずやっと繋がってもとても警戒しているような応答で、最近不審な電話が多いのであまり電話を取らないんだとの返答であった。その後は電話も全く繋がらない状態であったが、友人の方から認知症になり田舎に戻ったとのことであった。

〇住まいが町田の方で、何か良策があったのではと悔いが残った。

地域連携というが実際どこに連絡すれば良いのかな？

個人情報保護

vs

情報共有